

侵入害虫クロテンオオメンコガ（新称）の国内における広範囲での発生確認

Occurrence of *Opogona sacchari* (Bojer) in a Wide Area of Japan

吉松慎一^{*}・安田耕司^{*}・広渡俊哉^{**}・宮本泰行^{**}

Shin-ichi Yoshimatsu, Koji Yasuda, Toshiya Hirowatari and Yasuyuki Miyamoto

要約 クロテンオオメンコガ（新称）はチョウ目ヒロズコガ科に属し、海外では観賞用植物、バナナ、サツマイモ、トウモロコシなどの害虫として知られている。これまで、わが国では小笠原での採集記録のみであったが、本州から沖縄に至る広い範囲で発生していることを今回新たに確認した。

背景・ねらい

クロテンオオメンコガ *Opogona sacchari* (Bojer) はアフリカ、中南米、ヨーロッパに分布し、最近北米に侵入した害虫である。研究担当者らは近年、ドラセナ、パキラなどの観賞用植物を中心に発生した本種の同定依頼を頻繁に受けるようになった。そこで、わが国における本種の同定依頼記録、加害植物や発生実態に関する情報を収集し、発生状況や定着状況を明らかにしようとした。

成果の内容・特徴

1. 農業環境技術研究所と大阪府立大学大学院応用昆虫学研究室に同定依頼された本種を *Opogona sacchari* (Bojer) と同定し、新たに和名をクロテンオオメンコガと命名した（図1、図2）。
2. 従来わが国における本種の発生記録は1986年の植物検疫での発見例と1999年9～10月の小笠原父島での採集例の2件のみであったが、同定依頼の記録を改めて整理したところ、本州から沖縄に至る13地点で発生していたことを新たに確認した（表1）。
3. 今回、わが国では観賞用植物での発生が多く確認されたが、他に熱帯果樹にも被害があった。また、家畜飼料でも発生することが確認されている（表1）ことから、わが国においても海外の報告にみられるように本種の広い食性が確認できた。
4. 今回確認した発生状況などから、本種は少なくとも本州の新潟以南、四国、九州から沖縄にかけて発生を繰り返しており、わが国に定着したと考えられる。

成果の活用面・留意点

1. 本種は、冬場でも施設内では発生が確認されており、それが次年度の発生に結びつくこと

* 農業環境インベントリーセンター 昆虫分類研究室, (** 大阪府大)

Insect Systematics Laboratory, Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第4号, p.7-8 (2005)

もあると考えられる。また、今回は発生が確認されなかった北海道や東北地方でも、特に施設栽培での注意が必要である。

2. 海外においては普通作物の被害も確認されている。また、貯穀害虫としても注目する必要がある。

具体的データ



図1 クロテンオオメンコガ成虫
(開張：♂約20 mm, ♀約23 mm)



図2 クロテンオオメンコガ終齢幼虫
(体長約30 mm)

表1 クロテンオオメンコガの日本における侵入、発生の記録

年月	採集地	加害植物と加害物質：加害部位	個体数
1986年7月 ^a	福岡県関門港	ドラセナ：幹	4
1988年	千葉県君津市	パキラ（施設内）：新梢先端部	1♀
1992年7月	沖縄本島恩納村	ベンジャミン：接ぎ木部	2♂4♀
1993年10月	岐阜県海津郡海津町	アナナス：新芽，地際部，芯	1
1993年1月	茨城県潮来町	ユッカ：木部	2♀
1994年9月～1995年2月	奈良市今市町	シンビジウム（施設内）：培養土	1♂
1995年3月	奈良市今井町	シンビジウム（施設内）：培養土	12♂7♀, 2; 幼虫5
1997年4月	熊本県上益城郡益城町	ドラセナ：木部，セローム：塊根， チューリップ・ユリ：球根	1♂3♀; 幼虫45
1997年4月	沖縄県玉城村	ドラセナ：枝	3♂11♀
1998年8月	茨城県玉造町	パキラ：表皮内と髄部	1♂7♀, 2
1998年10月	茨城県鹿島郡神栖町	パキラ苗（施設内）	2♂3♀
1999年4月	高知県土佐市	デンドロビウム：培養土，根，バルブ	3♀
1999年9～10月 ^b	小笠原諸島父島	鶏用の飼料	報告無し
2000年～	新潟県北蒲原郡	ベゴニア：球根，アロエ，バナナ， パッションフルーツ	多数
2001年9月	東京都八丈島	ドラセナ，オーガスタ， テーブルヤシ属の1種	1♂1♀

^a 馬場(1990)が報告した植物検疫での発見記録。

^b 高橋ほか(2000)が報告したトラップでの採集記録。

^c ♀のみは全て成虫，数字だけ示したのは雌雄識別不能な成虫を示す。

その他

連絡先：農業環境インベントリーセンター 昆虫分類研究室 吉松慎一
電話：029-838-8348, E-mail：yosimatu@niaes.affrc.go.jp

発表論文等：吉松慎一他，クロテンオオメンコガ（新称）*Opogona sacchari* (Bojer)の日本における発生状況，日本応用動物昆虫学会誌，48，135-139（2004）